



教師1人、児童生徒1人につき1アカウントを使用します。
学校様・教育委員会様単位でライセンスをご購入いただけます。

最新情報は Kocri の Web サイトをご確認ください。

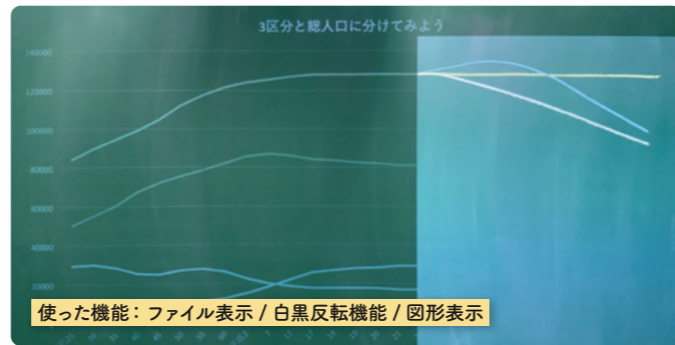
活用事例集 実際の授業ではこのように使われています。

堀田龍也 監修
「黒板投影型 ICT 活用プロジェクト」より



1けたでわるわり算の筆算 (小学校4年 算数)

「1けたでわるわり算の筆算」の2時間目。「たて」「かけて」「ひいて」「おろす」のアルゴリズムについて、位をそろえて書くことの定着を図るために Kocri でまず目を提示し、まず目に沿ってわり算の筆算を書きました。



人口の今後の変化を予想しよう (中学校2年 社会)

日本の人口の変容を示す線グラフを白黒反転させて提示し、2010年以降を図形で隠します。人口がこの先どう変わるか予想させ、チョークで書いてもらいました。図形をゆっくり移動させ、ドキドキ感を演出して答え合わせ。



実験前と実験後の結果を比較 (小学校6年 理科)

「だ液がでんぷんを変化させるか」の授業にて、実験前と実験後の写真を Kocri で撮影し、2枚を並べて提示して実験の時系列に沿って書き込みを行いました。実際の実験写真を使うと振り返りを行いやすくなりました。

「黒板×Kocri」の活用法に感じる可能性

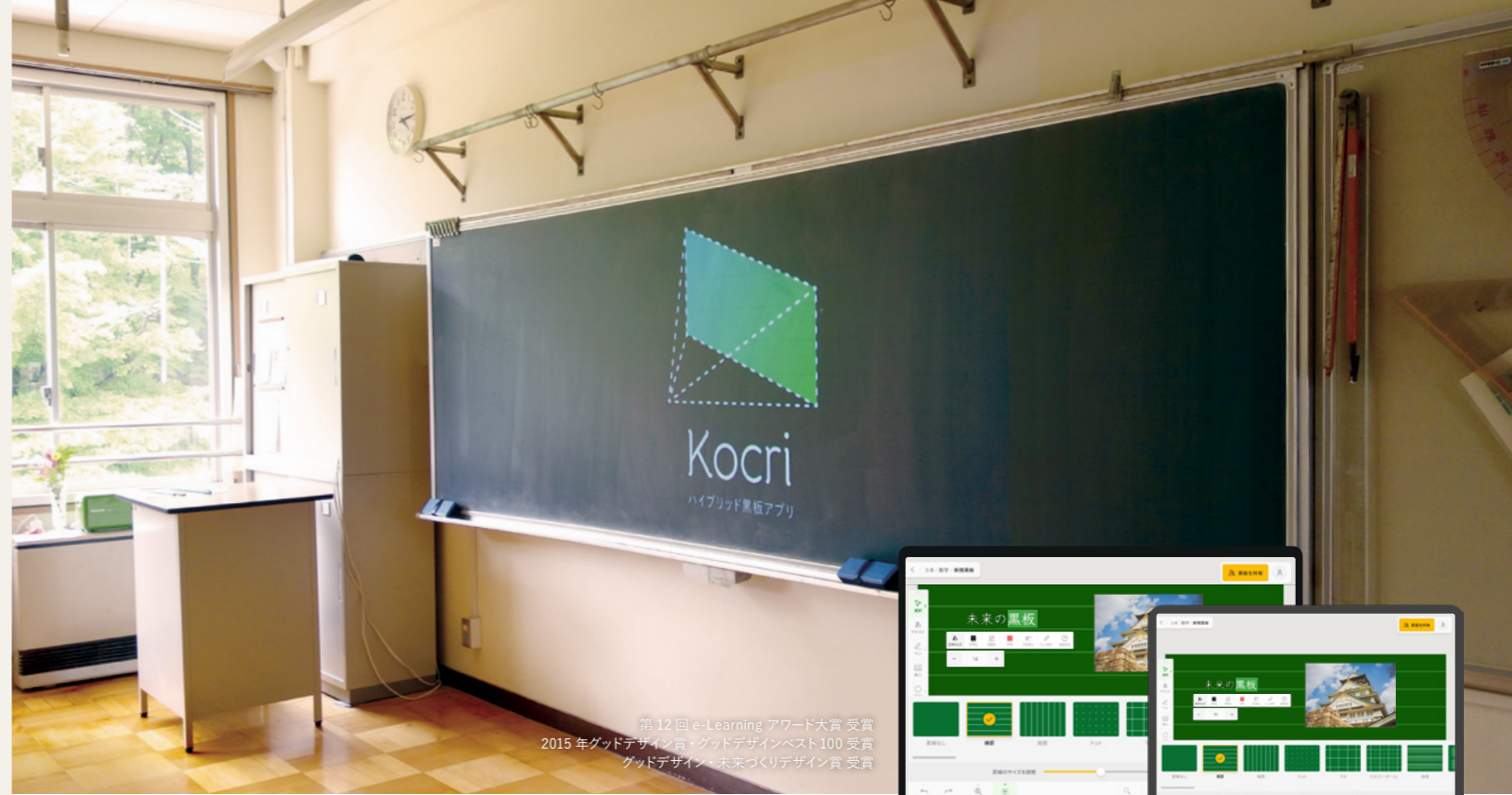
我が国の授業の中心は一斉授業です。一斉授業という、一方通行で教え込みだと決めつける人がいますが、今どきの小中学校ではそんな授業は通用しません。教室に多人数が一斉にいることを活かした授業づくりが行われています。

一斉授業では授業のめあてや子供たちの発言、それらの情報の視覚化と整理がなされ、先生によって板書されます。1時間の授業の流れが板書によって可視化されるのです。そんな黒板に、スマートフォンやタブレットで映したデジタル画像をプロジェクターで投影し、チョークだけでは表現できない板書をする——これが Kocri の中核的な機能です。

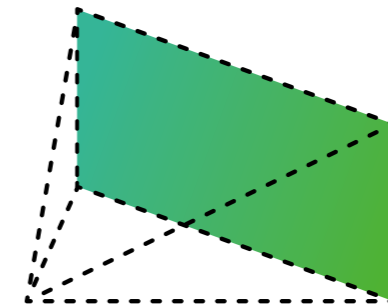
本事例でもおわかりのように、簡便な操作で普段から使っている黒板が引き立ちます。Kocri によってデジタルとアナログが板書で見事に融合し、シームレスにつながります。ICT 活用は今や特別なものではなく、すぐそこにある現実となりました。

堀田 龍也 (ほりた たつや)

東北大学大学院情報科学研究科人間社会情報科学専攻・教授
専門分野は教育工学、情報教育・メディア教育



- ✓ ブラウザアプリ化 OS/機種問わず使用可能
- ✓ 生徒タブレットと連携
- ✓ 問題配布・集計分析



Kocri™ for Cloud
ハイブリッド黒板アプリ

黒板と電子黒板のイイところどり。

ハイブリッド黒板アプリ Kocri (コクリ) を使えば、チョークでスラスラ書きながら、タブレットとプロジェクターを使って動画や画像を黒板に一瞬で映せます。先生のみならず、いつもの授業にデジタルの良さをちょっと加えて100年以上変わらない黒板を変え、教室を変えましょう。

●本カタログに掲載されている、「プロジェクターで黒板に映像を投影している写真」は、実際の教室で撮影された写真ではありませんが、投影した映像の見え方は、教室環境や天候・時間帯に大きく影響されます。映像が見えづらい時は、教室の電気を消したりカーテンを開ける等、運用面で対策をしていただきますようお願い申し上げます。●「Kocri for Windows」及び「Kocri for iOS」から、「Kocri for Cloud」へのデータの引継ぎは行えません。●Microsoft、Windows は米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。Windows® の正式名称は Microsoft Windows Operating System です。●Kocri は株式会社サカワの登録商標です。



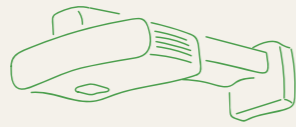
「1人1台端末」環境の新しい学びを支えるKocri



黒板に映しても見やすく変化「白黒反転」
配置したプリントの画像やPDFをワンタッチで白黒反転。黒い線が白くなることで、文字や図形がまるでチョークで書いたかのようになり、黒板に映しても見やすくなります。



上から「目隠し」で穴埋め問題に
PCで作成した文書を白黒反転させ、隠したい場所に「目隠し」を配置したら、あっという間に「穴埋め問題」のできあがり。目隠しをめくり、そのまま答え合わせをしましょう。



背景色で表題を目立たせる

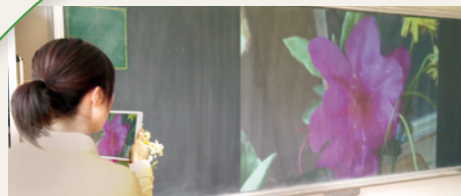
オリジナルの「問題」を作ろう

簡単操作の「タイマー」

「リンク挿入」で素早くサイト移動

授業中に見せたい動画やWebサイト、デジタル教科書にワンタッチでアクセスできます。

手元の操作がそのまま黒板に



持ち運びができる実物投影機。「カメラ」で皆に共有しよう



ペンで書き込み。お気に入りの色は保存しよう



方眼や罫線入りの黒板に早変わり。よく使うガイド線を投影できる

●「カメラ」機能を使用するには、PCまたはタブレットにカメラが搭載されている必要があります。●Kocriで表示できるデータは、JPG/PNG/PDF/MP4/MP3/GIF形式です。

生徒端末との連携

児童生徒が「1人1台端末」を持つ環境で、共有をスピーディに。

GIGAスクール構想対応

教師端末のスライドを、生徒端末にそのまま送れます



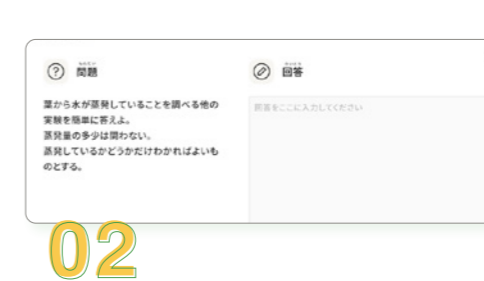
GIGAスクール構想で新しい学習指導要領が始まると、「1人1台端末」を最大限活かすための仕組みが必須です。「生徒端末との連携」機能を使うと、教師端末で作成したスライド(Kocriの教材)を、ワンタッチで生徒端末に共有することができます。一度共有したスライドは、**生徒端末から何度でも振り返ることができます**。授業中だけでなく、持ち帰りで復習を行う際にも効果を発揮します。

3つの**問題フォーマット**を使って最短時間で問題を作成する

- 画像やテキストに対して、問題を設定できます
- 「教える・出題する」一連の流れがKocriの中で完結します



01 【お絵かき・画像添付】
「北海道の形を書きなさい」という問題に、児童生徒が「ペン」機能を使って答えを書き込み、回答しています。



02 【テキスト自由入力】
一人ひとり違う考えを記述形式で。テキストだから、回答ワードがデータ化でき、回答傾向を掴むことができます。

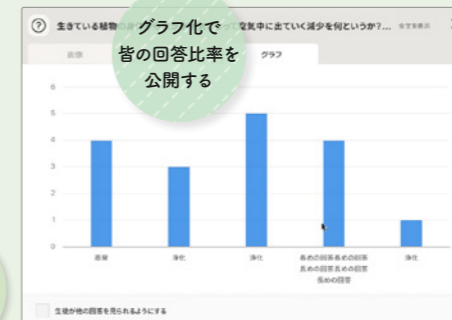


03 【選択式：テキスト / 画像】
テキストまたは画像による選択肢から回答してもらう問題です。回答の項目数は、問題によって自由に変えられます。

子どもたちの回答をリアルタイムで集計・分析する



一覧表示で並べて見せる
特定の回答を大きく見せる



グラフ化で皆の回答比率を公開する



よく使われた回答ワードを強調して見せる

